

附録二 盲學校要覽

校長名 小竹祿之助

沿革概要 大正十一年四月静岡縣の認可を得、同十三年文部省より認可せらる。同十五年静岡縣立代用盲學校となる。

昭和十五年三月迄卒業生總數 七三名

昭和十五年四月一日現在生徒數

初等部 一五名

中等部鍼灸科 三一名

別科 一二名

總計 五八名

資産 二五、〇〇〇圓

昭和十四年度決算 四、三六〇圓

愛知縣盲學校

所在地 名古屋市中區宮前町一丁目七

創立年月 大正元年十月一日

校長名 角田猪太郎

沿革概要 明治三十四年四月盲人長岡重孝氏私立名古屋盲學校を設立す。大正元年十月名古屋市立盲學校となる。昭和七年四月愛知縣立に移管し、翌八年盲聾分離して愛知盲學校と改稱す。

昭和十五年三月迄卒業生總數 五一四名

二二

昭和十五年四月一日現在生徒數

初等部 七一名

中等部豫科 五名

乙種按摩科 一六名

鍼灸按摩科 八二名

音樂科 五名

總計 一七九名

資産 六九、五三三圓

昭和十四年度決算 二〇、九八二圓

私立岡崎盲學校

所在地 岡崎市伊賀町西郷中一〇四

創立年月 明治三十六年六月十一日

校長名 河合 松藏

沿革概要 明治三十六年七月設立、同四十五年大谷派本願寺より無償貸與を受けたる地に新校舎建築成り移轉せしも、大正七年二月出火により全部烏有に歸し、舊廣幡小學校舎に移轉す。同十二年現校舎落成、翌十三年財團法人設立認可さる。

昭和十五年三月迄卒業生總數 二二六名

昭和十五年四月一日現在生徒數

昭和十五年三月迄卒業生總數

鍼灸按摩科 一六一名

乙種按摩科 四〇名

總計 二〇一名

昭和十五年四月一日現在生徒數

中等部鍼灸按摩科 一六名

同按摩科 八名

初等部 九名

豫科 一名

總計 三四名

資産 一、七二一坪

校地 四一〇坪

建物 九、一二四圓四九錢

昭和十四年度決算

名古屋盲人技術學校

所在地 名古屋市中區古澤町一丁目四

創立年月 昭和八年十二月五日

校長名 河村 作男

沿革概要 昭和八年十二月設立認可をうけ同十年五月指定校となる。昭和十五年三月迄卒業生總數 八二名

二三

附録二 盲學校要覽

私立豊橋盲啞學校

所在地 豊橋市鍵田町五五、五六

創立年月 明治三十三年七月二日

校長名 高橋小十郎

沿革概要 本校は愛知縣室飯郡鹽津村にありし訓啞義塾を豊橋に移轉して盲部を併設、豊橋盲啞學校と稱す。大正十三年盲聾啞學校令により認可を受く。昭和九年三月現在地に移轉せしも、昭和十五年六月失火より校舎焼失す。

初等部 一一名

中等部乙種按摩科 三三名

同鍼灸按摩科 一九名

同研究科 一名

總計 三四名

資産 三〇、〇二一圓七〇錢

不動産 一一、五八〇圓〇〇錢

債券株式 二、四七七圓〇七錢

預金 三、七六五圓二二錢

特別積立金 四八、八四三圓九九錢

計 一三、〇六八圓一〇錢

昭和十四年度決算



附錄二 盲學校要覽

昭和十五年四月一日現在生徒數

鍼按科 八二名  
按摩科 一三名  
總計 九五名

昭和十四年度決算 二、八〇〇圓

三重縣立盲啞學校

所在地 津市下部田字北浦

創立年月 大正八年十二月二日

校長名 柴田勝郎

沿革概要 明治四十三年三重縣師範學校附屬小學校に盲生學級を附設したるに始まる。大正八年十二月三重慈善會の所屬となり三重盲啞院と稱せしが翌九年四月獨立し、同十年四月私立三重盲啞學校と改稱す。同十四年縣立となり、昭和五年現在地に移轉す。

昭和十五年三月迄卒業生總數

初等部 六六名  
中等部 一一名  
總計 一七七名

昭和十五年四月一日現在生徒數

初等部 三三名  
中等部 三三名  
研究部 一名

二四

總計

六五名

昭和十四年度決算

二〇、七三二圓六一錢

神都訓盲院

所在地 宇治山田市岩淵町二〇九

創立年月 大正八年七月

校長名 須藤敏男

沿革概要 明治三十八年當地鍼灸按摩業者が任意同業組合を設け徒弟並に受驗者の爲講習所を開設したるに始まり、其後一層盲教育の充實を圖るべく有志の賛同を得て組織を改め大正八年七月三重縣知事の認可を得て私立學校を設立す。

昭和十五年三月迄卒業生總數

四五名

昭和十五年四月一日現在生徒數

初等部普通科 七名  
中等部鍼按科 七名  
同別科 三名

總計

一七名

資産

七、四三〇圓

昭和十四年度決算

一、四六三圓〇八錢

滋賀縣立盲學校

所在地 彦根市尾末町五六

創立年月 明治四十一年

校長名 山本清一郎

沿革概要 明治四十一年現校長山本清一郎氏の創立に係る私立學校にして當初は彦根訓盲院と稱せり。大正十二年五月私立彦根盲學校と改稱し、同十四年滋賀縣代用校に指定せらる。昭和三年縣に移管して滋賀縣立盲學校と改稱す。

昭和十五年三月迄卒業生總數

一九五名

昭和十五年四月一日現在生徒數

初等部 二〇名  
中等部 一三名  
別科 五名  
總計 三八名

資産

土地 三、二一一、九坪

建物 三三四、〇坪

昭和十四年度決算 九、七八七圓六五錢

京都府立盲學校

所在地 京都市上京區鷹野花ノ坊町二

創立年月 明治十一年五月二十四日

附錄二 盲學校要覽

校長名 小山莊太郎

沿革概要 明治八年京都市待賢小學校に盲啞教室を設置せるに端を發し明治十一年五月京都市立盲啞院を開校す。我邦最初の盲啞學校なり。明治十三年京都小御所に於て明治天皇盲啞教授大覽の光榮に浴す。同二十二年十二月京都市立盲啞院となり、大正十四年四月盲啞を分離し京都市立盲學校と改稱す。昭和六年四月再び府に移管して京都府立盲學校となる。創設以來皇后陛下行啓、侍從御差遣、皇族殿下御成等の光榮に浴すること屢々なり。

昭和十五年三月迄卒業生總數

六四七名

昭和十五年四月一日現在生徒數

初等部 五六名  
中等部 八五名  
別科 一九名  
研究科 一名  
鍼按科 一名  
總計 一八二名

資産

基金 二九、五〇〇圓

學校財産 二七、二〇〇圓

昭和十四年度決算 三四、三三五圓

大阪府立盲學校

所在地 大阪市住吉區山之内町九一

創立年月 大正三年十月

二五



校長名 樋口 謙一  
 沿革概要 大正三年十月吉田多市及志岐與市氏主唱となり自己の出資と寄附金を以て西區北堀江通四丁目到大阪調盲院を開設す。大正十三年四月盲學校及豐啞學校令に依り文部大臣の認可あり。翌十四年天王寺區大道四丁目に校舎新築移轉し天王寺盲學校と改稱す。昭和三年大阪府に移管して大阪府立盲學校となる。同九年未曾有の大暴風に校舎大破したるも同十三年十二月これが改築工事竣工現校舎に移轉せり。

昭和十五年三月迄卒業生總數 一、一五二名

昭和十五年四月一日現在生徒數

初 等 部	七三名
中等部 鍼按科	一一五名
音 樂 科	三名
別 科	三〇名
研 究 科	七名
總 計	二二八名
資 産	五四〇、五八四圓
昭和十四年度決算	六六、八八三圓六四錢

### 大阪市立盲學校

所在地 大阪市南區南桃谷町

創立年月 明治四十年四月十八日  
 校長名 田淵利一郎  
 沿革概要 本校は元私立大阪盲啞院と稱せしが明治四十年三月大阪市に移管して市立盲啞學校と改稱す。大正十一年十月新たに豐啞學校の設立せられたるにより大阪市立盲學校となりて今日に及ぶ。

昭和十五年三月迄卒業生總數 一、〇一四名

昭和十五年四月一日現在生徒數

初 等 部	七〇名
中等部 豫科	八名
同 鍼 按 科	九八名
同 音 樂 科	一四名
同 別 科	三八名
研 究 科	一名
總 計	二三九名
資 産	二二〇、九八九圓
昭和十四年度決算	四六、六五〇圓九一錢

### 大阪朝日盲人學校

所在地 大阪市東區瓦町一ノ二七

創立年月 大正五年四月  
 校長名 廣瀬辰藏  
 沿革概要 大正五年四月現校長廣瀬辰藏氏の創設にかゝるものなり。  
 昭和十五年四月一日現在生徒數

別 科	一二名
選 科 生	二六名
總 計	三八名

### 兵庫縣立盲學校

所在地 兵庫縣明石郡垂水町  
 創立年月 大正十四年四月十日  
 校長名 松木 永八  
 沿革概要 明治三十八年六月故左近充孝之進氏により創立せられたる私立神戸訓盲院を前身とす。大正十三年盲學校令により神戸盲學校を設置す。同十四年四月神戸盲學校及神港盲學校を合併し兵庫縣立盲學校と改稱す。

昭和十五年三月迄卒業生總數 六二二名

昭和十五年四月一日現在生徒數

初 等 部	五二名
中等部 普通科	二〇名
同 音 樂 科	一名
同 鍼 按 科	五一名
附錄二 盲學校要覽	

別 科 一三名  
 研 究 科 五名  
 總 計 一四二名  
 昭和十四年度決算 二二、四〇〇圓

### 神戸市立盲學校

所在地 神戸市林田區御崎町二ノ一九  
 創立年月 昭和十四年四月  
 校長名 室井庄四郎  
 沿革概要 昭和十四年四月文部大臣の認可を経て元神戸市立御崎尋常小學校校舎に於て授業を開始し、児童は初等部一年のみ入學を募集し別科及中等部鍼按科生徒は神戸鍼按學校在學中のものを入學せしむ。翌十五年三月指定學校として認可を受く。  
 昭和十五年三月迄卒業生總數  
 元神戸鍼按學校 一五〇名  
 神戸市立盲學校 二四名  
 計 一七四名

昭和十五年四月一日現在生徒數

初 等 部	二一名
中 等 部	五五名
別 科	二六名
總 計	一〇二名
附錄二 盲學校要覽	二七



資 産 一四四、五四〇圓四三錢  
 昭和十四年度決算 二〇、五〇四圓

### 私立尼崎訓盲院

所在地 尼崎市南城内一五三  
 創立年月 明治四十五年三月十日  
 校長名 中 馬 優

沿革概要 明治四十五年三月設立す、大正二年四月私立尼崎訓盲院の認可を得、同八年五月尼崎訓盲院と改稱す。

昭和十五年三月迄卒業生總數 三〇九名  
 昭和十五年四月一日現在生徒數

養 育 科 一七名  
 本 科 一八名  
 總 計 三五名

資 産 一六、一〇五圓二二錢  
 昭和十四年度決算 二、五六〇圓

### 奈良縣立盲啞學校

所在地 奈良市油坂町  
 創立年月 大正九年三月  
 校長名 吉田角太郎

沿革概要 大正九年三月山田安民氏によりて奈良盲啞學校を創立せらる。同年六月奈良盲學校と改稱す。昭和六年四月縣に移管すると共に聾啞部を置き奈良縣立盲啞學校となれり。

昭和十五年三月迄卒業生總數 九〇名  
 昭和十五年四月一日現在生徒數

初 等 部 一〇名  
 中 等 部 二七名  
 總 計 三七名

昭和十四年度決算 一八、七五〇圓

### 和歌山縣立盲啞學校

所在地 和歌山市眞砂町二丁目  
 創立年月 大正七年四月  
 校長名 金成甚五郎

昭和十五年四月一日現在生徒數

初 等 部 三二名  
 中 等 部 三六名

總 計 六八名

### 鳥取縣立鳥取盲啞學校

所在地 鳥取市湯所町一三一  
 創立年月 明治四十三年七月十日  
 校長名 松下政藏

沿革概要 明治四十三年三月縣の認可を得て同年七月開校式を舉行す。大正十年十月内務省令により指定學校の認可を受く。昭和六年四月縣立代用校となり、同十二年四月縣に移管して現在の名稱に改む。

昭和十五年四月一日現在生徒數

初 等 部 一〇名  
 中等部 七名  
 總 計 一七名

資 産 五六、八一九圓  
 昭和十四年度決算 九、五三四圓

### 島根縣立盲啞學校

所在地 松江市外中原町四一  
 創立年月 明治三十八年五月三日  
 校長名 河上民祐

附錄二 盲學校要覽

沿革概要 明治三十八年五月福田ヨシ子氏が有志の後援を得て設立せるものにして松江私立盲啞學校と稱せしが、後松江婦人會の經營に移り私立松江婦人會盲啞學校と改稱す。同四十四年九月財團法となり私立松江盲啞學校と改稱せらる。大正十二年四月縣に移管せり。

昭和十五年三月迄卒業生總數 一〇九名  
 昭和十五年四月一日現在生徒數

初 等 部 一四名  
 中 等 部 二七名  
 總 計 四一名

資 産 一、〇七六坪  
 土地 一三三坪五  
 建物 一二六坪九  
 其の他 三三、七一圓  
 圖書器械標本等 一六、四九八圓三六錢  
 昭和十四年度決算

### 岡山縣立盲啞學校

所在地 岡山市西古松  
 創立年月 明治四十一年十一月二十五日  
 校長名 妹尾熊男

沿革概要 岡山縣に於て盲啞教育の實施せられたるは明治三十八年に始まる。當時縣下各小學校に盲啞兒を收容して一般兒童と共に教授

二九



し巡回教師山本厚平を採用し之に當らしむ。當時八十九校百二人を收容せり。卅九年七月巡回教師を廢し男女師範學校生徒に雙啞盲生教授法を授けたりしも、兩者とも其の成績見るべきものなし。次で岡山市に私立盲啞院を起したるも間もなく閉鎖の己むなきに至れり。茲に於て私立岡山縣教育會は多大の犠牲を拂ひ明治四十一年十一月私立岡山縣教育會盲啞院を開設し同會館を教室に充當せり。同四十二年私立岡山盲啞學校と改稱す。大正十三年四月より縣立代用校に指定せられ、昭和二年四月縣に移管岡山縣盲啞學校と改稱す。昭和五年四月より市内西古松に校地を下し校舍新築に着手昭和六年六月落成移轉せり。

昭和十五年三月迄卒業生總數 一五五名  
昭和十五年四月一日現在生徒數

初 等 部 三〇名  
中等部 餘按科 三〇名  
同 研 究 科 二名  
同 別 科 八名  
總 計 七〇名

資 産 土地、建物、備品の見積額 一三三、二〇三圓

昭和十四年度決算

三一、八四八圓  
(雙啞部經費を含む)

廣島縣立盲學校

所在地 廣島市新川場町一六  
創立年月 大正三年九月一日  
校長名 八尋 樹 蒼

沿革概要 大正三年前廣島商業會議所會頭松浦泰次郎氏の主唱によりて同年九月創立す。同四年現校地に本校舎成り移轉す。大正十三年縣に移管して縣立盲啞學校となり、昭和九年に至り廣島縣立雙學校の新築にともなひ盲部雙部分離して廣島縣立盲學校と稱す。

昭和十五年三月迄卒業生總數 三七七名  
昭和十五年四月一日現在生徒數

初 等 部 八九名  
中等部 音樂科 四名  
同 餘 按 科 五七名  
研 究 科 一七名  
總 計 一六七名  
昭和十四年度決算 一三、〇三五圓

山口縣立下關盲啞學校

所在地 下關市大坪町一  
創立年月 明治四十年九月十一日  
校長名 緒 惣 一

沿革概要 明治三十八年盲人鍼灸家今富八郎氏が今富盲學館を設立し盲人子弟に鍼灸按摩術並に普通學を教授せしに始まる。同四十年下關博愛婦人會が之を繼承し、更に雙啞者をも收容して下關博愛盲啞學校と稱す。大正十二年愛國婦人會山口支部の經營に移り下關盲啞學校と改稱せしも、昭和四年に至り縣に移管して山口縣立となる。

昭和十五年三月迄卒業生總數 二九五名  
昭和十五年四月一日現在生徒數

初 等 部 二六名  
中等部 餘按科 三八名  
別科 按摩科 一三名  
總 計 七七名  
昭和十四年度決算 二四、〇六九圓

德島縣立盲雙啞學校

所在地 德島市南二軒屋町  
創立年月 明治三十八年十二月  
校長名 飯 原 勝 次

沿革概要 明治二十七年五寶翁太郎氏が盲啞生數名を集め小學教育の傍特別指導をなせしに創まる。同三十八年之を私立德島盲啞學校と稱す。昭和六年三月縣立盲雙啞學校設置の認可を受く。

附錄二 盲學校要覽

昭和十五年三月迄卒業生總數 一〇八名  
昭和十五年四月一日現在生徒數

初 等 部 三六名  
中等部 餘按科 三五名  
鍼 按 別 科 六名  
總 計 七七名  
昭和十四年度決算 一六、〇三二圓

香川縣立盲學校

所在地 高松市昭和町  
創立年月 明治四十一年四月二十七日  
校長名 鎌 野 廣 義

沿革概要 明治四十一年三月設立認可を得四月開校式を舉行す。大正十三年縣立に移管して今日に至る。  
昭和十五年三月迄卒業生總數 一三三、五名  
昭和十五年四月一日現在生徒數

初 等 部 三四名  
中等部 餘按科 一九名  
總 計 三二



附録二 盲學校要覽

同音樂科	二名
別科鍼灸科	一〇名
同音樂科	二名
研究科	五名
總計	七二名
昭和十四年度決算	七、九一〇圓

愛媛縣立盲啞學校

所在地 松山市御幸町一ノ一七四  
 創立年月 明治四十年十月  
 校長名 二神常一

沿革概要 明治四十年愛媛教育協會役員にして當時温泉郡余戸村長たりし盲人森恒太郎氏の首唱により創立せられ、松山市二番町に於て開校す。大正五年九月現在地に新校舎成り移轉す。昭和四年縣に移管して愛媛縣立盲啞學校と改稱し今日に至る。

昭和十五年三月迄卒業生總數 一三三名  
 昭和十五年四月一日現在生徒數

初等部	四〇名
中等部本科	二四名
同選科	三名

別科	三二
總計	一〇名
昭和十四年度決算	二四、七九三圓

高知縣立盲啞學校

所在地 高知市愛宕町二ノ五二  
 創立年月 昭和四年二月  
 校長名 小川明

沿革概要 昭和四年四月縣立第一高等女學校寄宿舎を假校舎として開校し、同年七月現在地に新築移轉せり。

昭和十五年四月一日現在生徒數

初等部	二一名
中等部	三一名
別科	一〇名
總計	六二名
昭和十四年度決算	一七、九七三圓八二錢

福岡縣福岡盲學校

所在地 福岡市二見町二  
 創立年月 明治四十三年一月十日  
 校長名 石倉龜太郎

中等部鍼灸科	六九名
同別科	一三名
初等部	四九名
研究科	一名
總計	一三二名
昭和十四年度決算	一三、三九八圓

佐賀縣立盲啞學校

所在地 佐賀市水ヶ江町大崎四一八  
 創立年月 大正十四年一月  
 校長名 浦壁順一

沿革概要 大正四年より西田嘉平氏の經營せる盲啞教授所及び大正十一年より大塚竹次氏によりて經營せられたる佐賀盲學院を合併して、同十四年一月佐賀盲啞學校を設立し、六月文部省の認可を受けたり。昭和九年四月縣營に移管す。

昭和十五年四月一日現在生徒數

初等部	一一名
中等部	三四名
別科	五名
總計	五〇名
昭和十四年度決算	三三

福岡縣柳河盲學校

沿革概要 明治四十三年一月私立福岡盲啞學校の名稱の下に設立す。大正十三年縣營に移り福岡縣立盲啞學校となる。昭和六年二月雙啞學校と分離して獨立す。

昭和十五年三月迄卒業生總數 三〇七名  
 昭和十五年四月一日現在生徒數

初等部	七四名
中等部	九九名
別科	三名
研究科	一名
總計	一八七名
昭和十四年度決算	二五、九〇一圓三一錢

所在地 福岡縣山門郡三橋村大字今古賀一七〇  
 創立年月 明治四十一年八月  
 校長名 安藤正雄

沿革概要 元柳河訓盲院と稱し大淵清庵氏の創立に係る。明治四十二年五月常盤町に校舎及寄宿舎を築造せり。大正十年二月財團法人設立の認可を得、同十三年四月縣營に移管せらる。翌年四月福岡縣柳河盲學校と改稱す。昭和六年現在の地に移轉せり。

昭和十五年三月迄卒業生總數 三一五名  
 昭和十五年四月一日現在生徒數

附録二 盲學校要覽



### 長崎縣立盲學校

所在地 長崎市上野町二三七  
 創立年月 明治三十一年九月十二日  
 校長名 多比良義雄

沿革概要 明治三十一年長崎盲啞院と稱し長崎慈善會によりて設立せらる。同三十三年長崎盲啞學校と改稱す。大正十三年盲啞分離して縣立代用盲學校に指定せられ、昭和四年縣に移管して長崎縣立盲學校となれり。

昭和十五年三月迄卒業生總數 三五八名  
 昭和十五年四月一日現在生徒數

初 等 部 二三名  
 中等部 鍼灸科 四六名  
 別 科 一〇名  
 總 計 七九名

昭和十四年度決算 一三、八四〇圓二〇錢

### 佐世保育盲啞學校

所在地 佐世保市宮田町一七  
 創立年月 昭和六年七月  
 校長名 古賀定次

沿革概要 昭和六年現校長古賀定次氏私立佐世保育盲啞學院を創立す。

昭和十年八月現在の地に新校舎を建築移轉し、同十三年文部省の認可を受く。

昭和十五年三月迄卒業生總數 一名  
 昭和十五年四月一日現在生徒數

初 等 部 五名  
 中 等 部 一五名  
 總 計 二〇名

資 産 一、五七〇圓  
 昭和十四年度決算 三、三三六圓四〇錢

### 熊本縣立盲啞學校

所在地 熊本市出水町大字今九三七  
 創立年月 明治四十四年九月十五日  
 校長名 後藤芳馬

沿革概要 明治四十四年九月伊津野滿仁太氏が私立熊本盲啞技藝學校を開校せしに始まる。昭和八年九月熊本盲啞學校と改稱す。同十五年縣營に移管し今日に至る。

昭和十五年三月迄卒業生總數 四一六名  
 昭和十五年四月一日現在生徒數

中等部 鍼灸科 七一名  
 同 別 科 一二名  
 初 等 部 五三名

總 計 一三六名  
 昭和十四年度決算 三四、一一一圓

### 大分縣立盲啞學校

所在地 大分市金池三〇九六  
 創立年月 明治四十一年六月  
 校長名 森清克

沿革概要 日露戰役失明軍人現校長森清克氏及び志柿佐吉氏外二名によりて創立せられたるものにして大分縣私立盲啞學校と稱せらる。

明治四十一年十一月大分市中島に移轉す。明治四十四年大分縣南新地元大分町役場跡に再び移轉し、大正七年縣費二千圓の補助並に篤志家よりの寄付金を以て大分市宇金池に校舎を新築せり。大正十年縣に移管し大分縣立盲啞學校と改稱す。

昭和十五年三月迄卒業生總數 七〇二名  
 昭和十五年四月一日現在生徒數

初 等 部 七四名  
 中 等 部 一〇九名  
 別 科 一二名  
 研 究 科 五名  
 總 計 二〇〇名

資 産 二二七、一五四圓  
 昭和十四年度決算 三〇、九四一圓九四錢

### 宮崎縣立盲啞學校

所在地 宮崎市末廣町二ノ五二  
 創立年月 明治四十三年七月  
 校長名 吉田増治

沿革概要 元私立日向訓盲院と稱せしが昭和十年四月縣立に移管して宮崎縣立盲啞學校と改稱せり。

昭和十五年三月迄卒業生總數 二七二名  
 昭和十五年四月一日現在生徒數

初 等 部 三名  
 中 等 部 一一名  
 同 別 科 二名  
 總 計 一六名

資 産 一一、九〇〇圓  
 昭和十四年度決算 七、六七八圓四八錢

### 延岡盲啞學校

所在地 延岡市本小路町  
 創立年月 昭和三年七月一日  
 校長名 日吉幾治

沿革概要 昭和三年七月訓盲舎と稱し創立せらる。同四年七月縣知事の設立認可を得て雙啞部を併置し延岡盲啞學校と改稱す。同七年一



月文部大臣の設立認可を得たり。

昭和十五年三月迄卒業生總數

初等部	一七名
中等部	一五名
別科	二名
計	三四名

昭和十五年四月一日現在生徒數

初等部	六名
中等部	一四名
別科	八名
總計	二八名

昭和十四年度決算

三四、〇九二圓  
四、三五五圓八〇錢

### 鹿兒島縣立盲啞學校

所在地 鹿兒島市草牟田町三八七三

創立年月 明治三十六年二月二日

校長名 川畑宗次郎

沿革概要 明治三十六年二月創立同年三月設立認可を受け鹿兒島縣立盲啞學校と稱せしが四十三年私立鹿兒島盲學校と改稱す。大正五年

文部省より財團法人設立認可あり。同十年雙啞部を増設し、鹿兒島

盲啞學校と改稱す。大正十三年縣立盲啞學校代用の認可あり。昭和

四年四月縣營に移管し鹿兒島縣立盲啞學校と改稱す。

昭和十五年三月迄卒業生總數 一八二名

初等部	三五名
中等部	三六名
中等部兼按科	七一名
總計	七一〇名

昭和十四年度決算 二二、二〇七圓七六錢

### 私立沖繩盲學校

所在地 那覇市外松尾原二、五三六

創立年月 大正十四年四月

校長名 高橋福治

沿革概要 現校長高橋福治氏大正十四年四月本校を創立す。

昭和十五年四月一日現在生徒數

初等部	一六名
中等部	四名
總計	二〇名

### 朝鮮總督府濟生院盲啞部

所在地 京城府新橋町一



創立年月 大正二年四月  
 校長名 主事部長 田中藤次郎  
 沿革概要 朝鮮總督府濟生院は私立京城孤兒院の事業を繼承して明治四十四年濟生院養育部と稱し孤兒貧困兒の教育をなし來りたるが、大正二年四月濟生院盲啞部を設立して盲啞者教育をも開始せり。  
 昭和十五年三月迄卒業生總數 五三名  
 昭和十五年四月一日現在生徒數 七十七名  
 昭和十四年度決算 四三、三八四圓四二錢

**平壤盲啞學校**

所在地 平壤府大察里一〇五  
 創立年月 明治三十一年二月二十八日  
 校長名 河本志強  
 沿革概要 明治三十一年二月米國宣教師にして醫師たりし故賀樂氏が自費を投じて盲啞兒を收容し教導せしに創まる。明治四十三年八月朝鮮總督府私立學校令に依り認可を受く。昭和十五年十一月平壤愛隣院にて經營を引續ぐことなれり。

昭和十五年三月迄卒業生總數 五三名  
 昭和十五年四月一日現在生徒數 二一名  
 資 産 二四、二三五圓  
 昭和十四年度決算 五〇、〇〇〇圓

**大連盲啞學校**

所在地 大連市山吹町五一  
 創立年月 昭和五年四月一日  
 校長名 西 原 正 則

沿革概要 昭和三年十二月大連大廣場尋常小學校特別學級として雙啞教育を創めたるを濫觴とす。翌四年十月大連市山吹町に大連雙啞學校を開校し翌五年四月盲人教育の必要を認め關東廳盲啞學校と改む。昭和九年關東州盲啞學校、同十年更に大連盲啞學校と改稱す。關東州に於ける唯一の盲人保護事業施設なり。

昭和十五年三月迄卒業生總數 四名  
 昭和十五年四月一日現在生徒數 七名  
 初 等 部 一名  
 中等部 鍼灸科 一八名  
 總 計 一八名

昭和十四年度決算 五八、二二三圓

**臺北州立臺北盲啞學校**

所在地 臺北市蓬萊町八三  
 創立年月 大正六年六月二十五日

沿革概要 醫師木村謙吾氏、大正天皇即位御大典記念事業として大正六年六月自邸内に木村盲啞教育所を開設す。大正九年私立臺北盲啞



學校として認可せられ翌十年指定學校となる。昭和三年臺北州立臺北盲啞學校設立によりて臺北州に移管せらる。

昭和十五年三月迄卒業生總數 一五六名

昭和十五年四月一日現在生徒數

初等部	四五名
中等部 鍼灸科	二二名
別科	四二名
總計	一〇九名
昭和十四年度決算	二二、一三七圓

### 臺南州立臺南盲啞學校

所在地 臺南市壽町一ノ三五

創立年月 明治二十三年二月

校長名 濱崎 勝

沿革要 明治二十三年英人宣教師ウキリアム・キャンベル氏新樓構内に訓盲院を設け盲人に聖書、點字、算術、手藝等を授け居たりしが、三十三年十二月臺南慈善院に於てこの事業を繼承せり。大正四年明治救濟會より建築資金の寄附を受け現校舎を新築す。同十一年

四月私立盲啞學校となり、同年五月臺南州立臺南盲啞學校となり今日に至り。

昭和十五年三月迄卒業生總數 二三一一名

昭和十五年四月一日現在生徒數

盲生部 普通科	六八名
同 技藝科	一名
總計	六九名
資 産	九八、三五二圓四三錢
昭和十四年度決算	二二、一九八圓九三錢

### 私立樺太盲啞學校

所在地 樺太豊原市一線番外地東二號衛戍病院跡

創立年月 昭和六年六月

校長名 太田 勝馬

沿革要 昭和六年六月中田新平、太田勝馬、月光太七三氏により創立せらる。昭和十四年八月樺太盲啞學校規程により私立學校の認可をうけ樺太盲啞學校と稱す。

昭和十五年四月一日現在生徒數 盲生徒なし

昭和十四年度決算 五、二四〇圓二九錢



昭和十六年十一月十五日印刷  
昭和十六年十一月十八日發行

定價 金貳圓

發行人

中央盲人福祉協會

印刷者

東京市麹町區麹町五丁目二番地  
杉田 弥太郎

印刷所

東京市麹町區麹町五丁目二番地  
杉田 屋印刷所

發行所

中央盲人福祉協會

東京市淀橋區西大久保四ノ一七〇

電話四谷二四八三番



117x3











